

StormEncoder

セットアップマニュアル

V1.1J

ご使用の前に

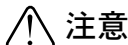
■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。



警告



● 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。



● 製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



● 製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かず、パソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



● 静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



● 消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいております。



● 他社製品と併用されるときのご注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境でご購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によってご購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品とご購入製品との併用はお止めください。



● その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

■お問い合わせについて

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノーブス株式会社

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、Canopusおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) DVStormRT、StormEdit、StormVideo、StormNavi、StormAudio、StormTest、StormBay、StormEncoderはカノープス株式会社の商標です。
- (9) MS、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書はStormEncoderのインストールおよび操作方法について説明しています。アプリケーション『MEDIACRUISE』の操作方法については、インストール後に作成されるオンラインマニュアルも、併せてご参照ください。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書では、Microsoft® Windows® operating system、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system、Microsoft® Windows NT® operating system、Microsoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XPをWindows 98 SE、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。

警告

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

StormEncoder
セットアップマニュアル
Version 1.1J

March 12,2002

Copyright © 2001-2002 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.



目次

第 1 章 確認 1

- 1. はじめに 2
 - 1-1. 使用許諾契約書について 2
 - 1-2. パッケージ内容の確認 2
 - StormEncoder 同梱物 2
 - 1-3. 使用に当たっての留意事項 3
 - 1-4. 動作環境 / 対応 OS 環境について 4
 - 1-5. 当社ホームページについて 4
 - 1-6. オンラインユーザー登録について 4

第 2 章 ボードの装着 5

- 1. ボードの装着 6
 - 1-1. StormEncoder の装着手順 6

第 3 章 インストール 9

- 1. インストール 10
 - 1-1. ドライバのインストール (Windows 98 SE の場合) 11
 - 1-2. ドライバのインストール (Windows Me の場合) 13
 - 1-3. ドライバのインストール (Windows 2000 の場合) 14
 - 1-4. ドライバのインストール (Windows XP の場合) 16
 - 1-5. アプリケーションの一括インストール 17
 - 1-6. 専用アプリケーションのインストール 18
 - 1-7. QuickTime のインストール 20
 - 1-8. Windows Media 関連のインストール 21
 - 1-9. MPEGソフトエンコーダのインストール 21
 - 1-10. SoftXplode のインストール 23
 - 1-11. MEDIACRUISE のインストール 24

| | |
|--|----|
| 1-12. StormEncoder アプリケーションのインストール | 26 |
| 2. アンインストール | 28 |

第4章 ファイル変換 29

| | |
|--|----|
| 1. MPEGファイルへの変換 | 30 |
| 1-1. StormEdit での変換 - タイムライン全部を変換 - | 30 |
| 1-2. StormEdit での変換 - タイムラインの一部を変換 - | 34 |
| 1-3. Premiere での変換 | 36 |
| ■ Premiere でのMPEGファイル出力時のご注意について | 38 |

第5章 リアルタイムキャプチャ 39

| | |
|--|----|
| 1. MEDIACRUISE での録画・再生 | 40 |
| 1-1. VIDEO モードにする | 40 |
| 1-2. VIDEO PLAYER タブのメニュー | 41 |
| ■ VIDEO PLAYER モードでのメインコントローラ機能 | 41 |
| ■ VIDEO PLAYER モードでのサブコントローラ機能 | 42 |
| 1-3. VIDEO RECORDER タブのメニュー | 43 |
| ■ VIDEO PLAYER モードでのメイン・サブコントローラ機能 | 43 |
| ■ VIDEO PLAYER モードで使用するタブメニューについて | 44 |
| 1-4. 録画する | 49 |
| 1-5. 再生する | 50 |

第6章 APPENDIX 51

| | |
|--------------------------|----|
| 1. StormEncoder 仕様 | 52 |
|--------------------------|----|

第1章

StormEncoder

確認

本書は、StormEncoder に関する内容のみを記載しております。DVStorm-RT の機能を十分にご活用いただくために、本書とあわせて DVStorm-RT に同梱の『DVStorm-RT ユーザーズマニュアル』および『DVStorm-RT セットアップマニュアル』を必ずお読みください。

- ・はじめに

1 はじめに

1-1. 使用許諾契約書について

StormEncoderをご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属しております Support Service Manual のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブスカスタマーサポート
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノーブス株式会社

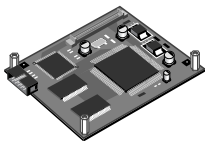
1-2. パッケージ内容の確認

StormEncoderのパッケージの中に下記の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノーブスカスタマーサポート
電話：078-992-5846（※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く）

■ StormEncoder 同梱物

StormEncoder ボード



取付けねじ(3本)

ディスク

StormEncoderをお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している Support Service Manual 中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

付属しているディスクについては、封筒内の『StormEncoder に付属のメディア』をご参照ください。

マニュアル

- StormEncoder セットアップマニュアル(本書)
- Support Service Manual

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただいていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を取り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

保証書

保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

1-3. 使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物(例:CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声)を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること(自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です)は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

1-4. 動作環境 / 対応 OS 環境について

本製品をお使いいただくには、DVStorm-RT が正常動作している必要があります。StormEncoder はDVStorm-RT 用オプションのため、動作環境および対応 OS 環境は、DVStorm-RT と同条件になります。詳しくは『DVStorm-RT セットアップマニュアル』をお読みください。

1-5. 当社ホームページについて

StormEncoder やDVStorm-RT をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただき快適なパソコン環境を実現してください。

1-6. オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくなくとも当社ホームページ上でユーザー登録を行うことができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

第2章

StormEncoder

ボードの装着

この章では、StormEncoder ボードを DVStorm-RT ボードへ装着する手順および DVStorm-RT ボードをパソコンへ装着する手順について説明します。

- ・ボードの装着

1 ボードの装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

1-1. StormEncoder の装着手順

- 1 パソコンを終了して電源を切ります。
- 2 電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

📖 ポイント

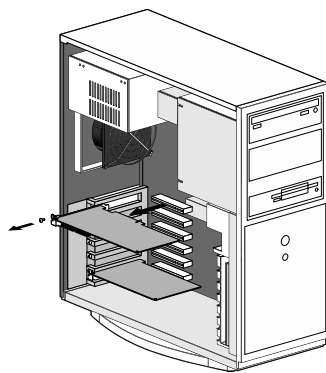
取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくことで元に戻す際に便利です。

- 3 パソコンのカバーを取り外します。
取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

- 4 パソコンに装着されている DVStorm-RT を取り外します。

ドライバーを使用して DVStorm-RT を固定しているねじを取り外してください。

※ 取り外したねじは手順8 で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。

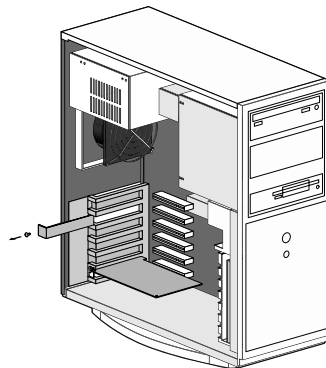


新規で装着する場合は、PCI スロットのカバーを1個取り外します。

DVStorm-RT ボードは PCI 用のボードですので、PCI コネクタに装着します。ドライバーを使用して PCI コネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。

※ 取り外したねじは手順8 で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。

※ 取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保存してください。



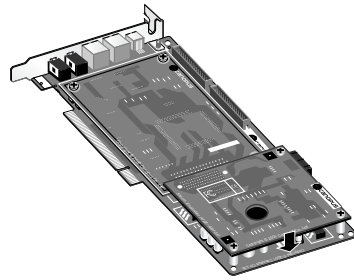
📖 ポイント

パソコンには通常、ISA、PCI、AGP の3つのタイプのコネクタがあります。通常 PCI は白いコネクタで、ISA コネクタよりもかなり小さなものです。AGP は通常茶色のもので、PCI のコネクタよりも若干小さなものです。ISA は通常黒いコネクタです。

5 DVStorm-RT ボード上にある接続コネクタへ StormEncoder を装着します。

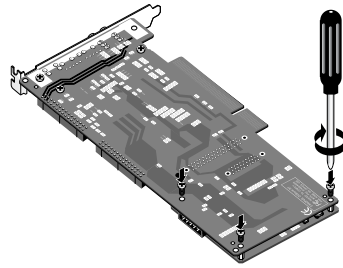
コネクタの形状をよくご確認の上、コネクタの奥までしっかりと差し込んでください。

※ どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、まず原因を確かめてください。



6 StormEncoder を装着したDVStorm-RT ボードをひっくり返し、ねじで固定します。

ボードをひっくり返す際には、StormEncoder を落とさないようボードを支えながら行ってください。ドライバーを使用して3本のねじで、確実に固定してください。



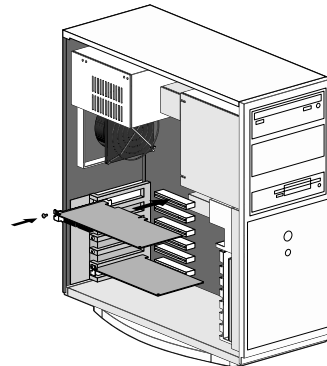
📖 ポイント

StormBay をご使用になる場合は、『DVStorm-RT セットアップマニュアル』をご参照の上、装着を行ってください。

7 DVStorm-RT ボードをPCI スロットに差し込んでください。

DVStorm-RT ボードは通常簡単にスロットに差し込むことができます。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、DVStorm-RT をいったん取り外して、引っかかりの原因を確認してみてください。また、違うスロットへの装着を試してください。

※ どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題でDVStorm-RT を使用することはできません。DVStorm-RT ボードはPCIの規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。



📖 注意!

ボード破損のおそれがあるため、DVStorm-RT ボード装着時や取り外し時には、必要以上にボード上の部品類に荷重を加えないでください。故障の原因となりますのでご注意ください。

8 手順4. で取り外したねじを使用して、DVStorm-RTボードのブラケットを固定してください。

9 パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルなどのケーブル類を元通りに接続してください。

第3章

StormEncoder

インストール

この章では、StormEncoder のドライバおよびDVStorm-RT のドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。

- ・インストール
- ・アンインストール

1 インストール

StormEncoder 装着の有無は問わず DVStorm-RT を新規でインストールする場合は、次頁以降の手順でインストールを行ってください。

DVStorm-RT をすでにご使用の場合は、まずはじめにアプリケーションのアンインストールを行ってください。その後、本製品に付属の『DVStorm-RT Driver & Application CD』を使用してドライバのアップデートおよびアプリケーションの再インストールを行ってください。ドライバのアップデートは、専用アプリケーションのインストール時に表示される[コンポーネントの選択]ウィンドウで[ドライバ]の項目にチェックを付けることで行えます。

StormEncoder アプリケーションのインストールは、編集アプリケーション、専用アプリケーションおよび MEDIACRUISE のインストール後に行ってください。

DVStorm-RT のドライバおよび DVStorm-RT 専用アプリケーション(Premiere Edit プラグイン含む)のインストールを行う前に以下の事項をご確認ください。Windows NT 4.0 環境でご使用の場合、ドライバのインストールは専用アプリケーションのインストールと同時にを行います(『1-5. 専用アプリケーションのインストール』参照)。

- ※ インストールおよびアンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※ 今後アプリケーションのアップデートを行う場合は、ドライバのアップデートもあわせて行うようにしてください。

📌 ポイント

- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 環境へインストールする場合、システム設定の変更を行える権限を持つユーザー ID (Administrator 等) でログオンしてください。システムの変更を行えないユーザー ID では、インストール作業は行えません。
- Windows NT 4.0 環境では、サービスパック 5 以降をあらかじめインストールしておいてください。
- Windows 2000 環境では、サービスパック 1 以降をあらかじめインストールしておいてください。
- DVStorm-RT 専用アプリケーションの動作には、QuickTime 4 以降のインストールが必須です。
- QuickTime 4 より古いバージョンをご使用の場合は、DVStorm-RT 専用アプリケーションのインストールを行う前に、必ずアンインストールしてください。
- SoftXplode は、Windows NT 4.0 環境ではご使用いただけません。Windows 98 SE/Windows Me/Windows 2000/Windows XP 環境でご使用いただく場合は、解像度 1024x768 ドット 32 ビット True Color 以上の環境が必要です。
- SoftXplode は DVXPLODE Professional、DVXPLODE、DVXPLODE fx、Rexfx との併用はできません。
- Premiere Edit プラグインを使用する場合には、Adobe Premiere 5.1c (Premiere のバージョンがそれ以前のものの場合、アップデートを行ってください) もしくは Premiere 6.0 をあらかじめインストールしておく必要があります。

1-1. ドライバのインストール(Windows 98 SE の場合)

Windows 98 SE 環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

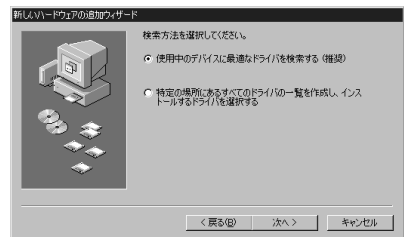
- 1 Windows 98 SE を起動してください。
→ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

- 2 『DVStorm-RT Driver & Application CD』を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。

※ ここでは CD-ROM ドライブを D: ドライブとして説明しています。



- 3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。



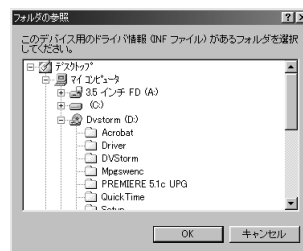
- 4 [検索場所の指定]をチェックし、[参照]をクリックしてください。

※ それ以外のチェックは外してください。



- 5 CD-ROM をセットしたドライブを選択し、[Driver]フォルダを選択して[OK]をクリックしてください。

※ 商品構成の変更、バージョンアップにより等によりボリュームラベル名やフォルダ構成が画面と異なる場合があります。



6 ファイルのコピー元が[D:¥Driver]となっていることを確認し、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明していますので、[D:¥Driver]になっていますが、たとえばCD-ROMドライブがQ:ドライブの場合には、[Q:¥Driver]となります。



7 [次へ]をクリックしてください。

※ 表示内容が[DVStorm-RT]になっていない場合は、[戻る]をクリックし、手順4からやり直してください。

→ ドライバのコピーを開始します。

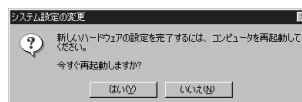


8 [完了]をクリックしてください。



9 設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。

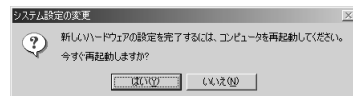


以上でWindows 98 SE環境へのドライバのインストールは終了です。引き続きアプリケーションのインストール(p. 17~参照)を行ってください。

1-2. ドライバのインストール(Windows Me の場合)

Windows Me環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

- 1 Windows Meを起動してください。
→ [新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されます。
- 2 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。
※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。
- 3 [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。
→ ドライバの場所を検索します。
- 4 [完了]をクリックしてください。
- 5 設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。
→ コンピュータを再起動します。



以上でWindows Me環境へのドライバのインストールは終了です。引き続きアプリケーションのインストール(p. 17~参照)を行ってください。

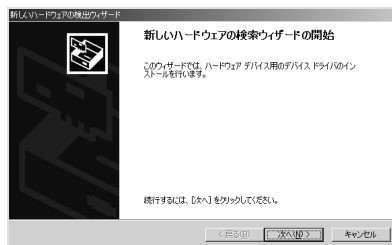
1-3. ドライバのインストール(Windows 2000 の場合)

Windows 2000 環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

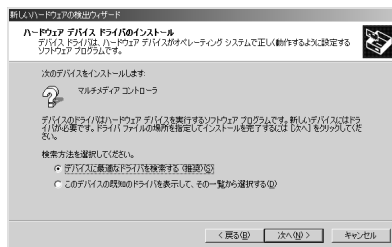
- 1 Windows 2000 を起動してください。
→ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

- 2 『DVStorm-RT Driver & Application CD』を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ] をクリックしてください。

※ ここでは CD-ROM ドライブを D: ドライブとして説明しています。



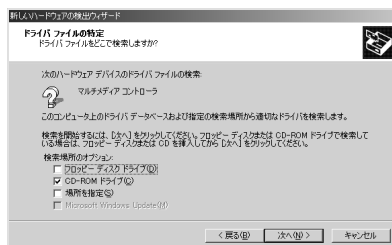
- 3 [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] にチェックを付け、[次へ] をクリックしてください。



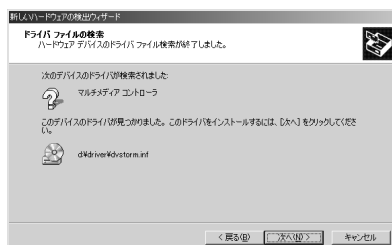
- 4 [CD-ROM ドライブ] をチェックし、[次へ] をクリックしてください。

※ それ以外のチェックは外してください。

→ ドライバを検索します。



- 5 [次へ] をクリックしてください。

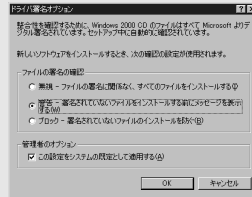


6 [デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されますが、[はい]をクリックしてください。



ポイント

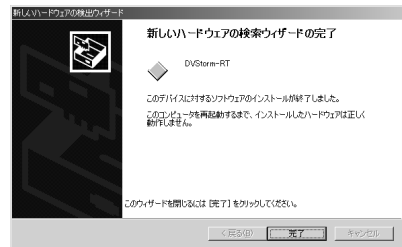
[デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示された時に[はい]が表示されない場合は、以下の手順でドライバ署名のオプションを変更してください。



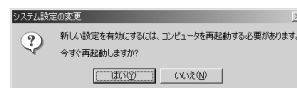
1. コントロールパネルの[システム]をダブルクリックします。
 2. [ハードウェア]タブにある[ドライバの署名]をクリックします。
 3. [ファイルの署名の確認]を[警告]に変更し、[OK]をクリックします。
- ※ドライバのインストール後は、設定を元に戻してください。

3

7 [完了]をクリックしてください。



8 設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。



→ コンピュータを再起動します。

以上でWindows 2000環境へのドライバのインストールは終了です。引き続きアプリケーションのインストール(p. 17~参照)を行ってください。

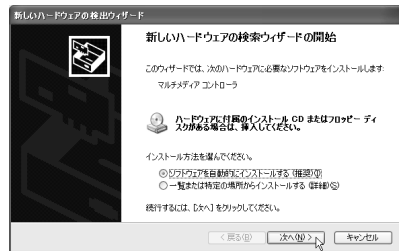
1-4. ドライバのインストール(Windows XP の場合)

Windows XP環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

- 1 Windows XP を起動してください。
→ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

- 2 『DVStorm-RT Driver & Application CD』を CD-ROM ドライブにセットします。[ソフトウェアを自動的にインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

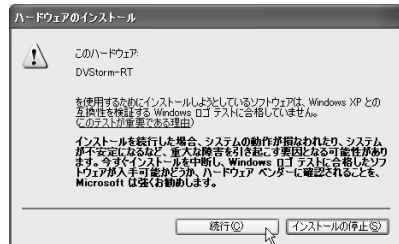
※ ここでは CD-ROM ドライブを D: ドライブとして説明しています。



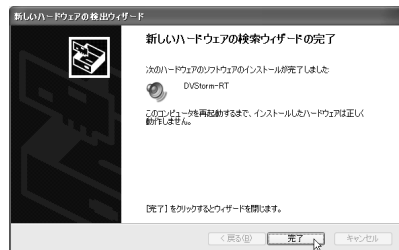
- 3 [続行]をクリックしてください。

→ ドライバを検索します。

※ ドライバのコピー中に、ドライバの場所を確認する画面が表示される場合があります。この場合、再度[D:\Driver]を指定してください。

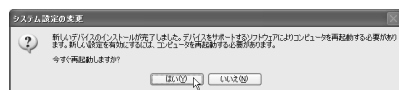


- 4 [完了]をクリックしてください。



- 5 設定を有効にするためコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。



以上でWindows XP環境へのドライバのインストールは終了です。引き続きアプリケーションのインストール(p. 17~参照)を行ってください。

1-5. アプリケーションの一括インストール

DVStorm-RTのアプリケーションをインストールします。各対応OSともほぼ同じ手順でインストールを行います (SoftXplodeはWindows NT 4.0非対応)。ここではWindows 98 SE環境へのインストールを例に説明します。Windows NT 4.0環境でご使用の場合、ドライバのインストールはアプリケーションのインストールと同時にを行います。

Premiere Edit プラグインを使用する場合、Adobe Premiere 5.1cにアップデートされたPremiereもしくはPremiere 6.0があらかじめインストールされている必要があります。『setupmgr.exe』を実行した場合、自動的に各々のアプリケーションのセットアッププログラムが起動します。すべてのインストールが完了するまでは、『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブより取り出さないでください。

MEDIACRUISE および StormEncoder アプリケーションは、『setupmgr.exe』を実行してもインストールされませんので、別途インストールしてください。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー (Administrator、コンピュータの管理者等) でログオンしてください。

1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。

2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。

☰ ポイント

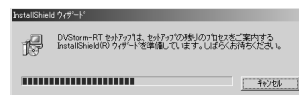
Windows Me/Windows 2000環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

Windows XP環境では、[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択します。

3 CD-ROMを挿入したドライブ(D:ドライブ)を選択して開いてください。

4 [setupmgr.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。



5 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。インストール時に表示されるメッセージについては次頁以降のアプリケーションの個別インストールをご覧ください。

☰ ポイント

すべてのインストールが完了するまでは、右図のウィンドウを絶対に閉じないでください。



1-6. 専用アプリケーションのインストール

DVStorm-RT 専用アプリケーションをインストールします。Windows NT 4.0環境でご使用の場合、ここでアプリケーションのインストールと同時にドライバのインストールも行います。Premiere Edit プラグインを使用する場合、Adobe Premiere 5.1cにアップデートされたPremiereもしくはPremiere 6.0があらかじめインストールされている必要があります。『setupmgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

※ いずれの対応 OS 環境でお使いの場合でも、ここでドライバのインストールが必要です。

1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』を CD-ROM ドライブにセットしてください。

※ ここでは CD-ROM ドライブを D: ドライブとして説明しています。

2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。

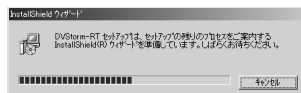
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。

3 CD-ROM を挿入したドライブ (D: ドライブ) を選択して開いてください。

4 [DVStorm]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。

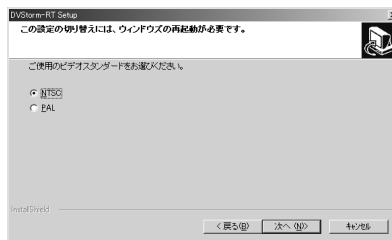


5 [次へ]をクリックしてください。

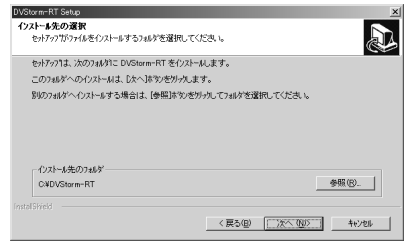


6 ビデオ信号の種類を選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ 日本国内で使用する場合、通常は[NTSC]を選択します。

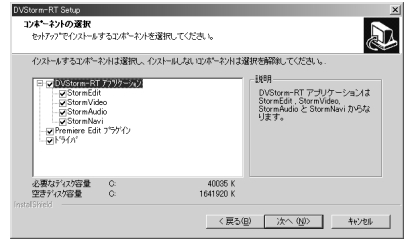


- 7** [次へ]をクリックしてください。
- インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



- 8** インストールオプションを選択後、[次へ] をクリックしてください。

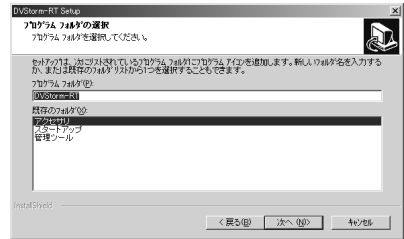
- ※ 初回インストール時は、[ドライバ]のチェックは外さないでください。使用しているOSに関わらず、[ドライバ]のチェックは外さないでください。
- ※ バージョンアップ等でドライバのアップデートを行う場合は、[ドライバ]にチェックを付けてください。



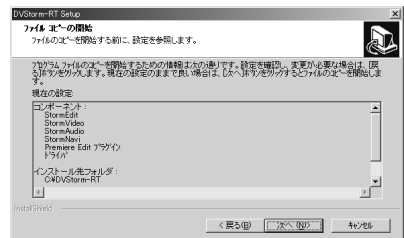
ポイント

Premiere Edit プラグインをインストールする場合には「Premiere 5.1c」もしくは「Premiere 6.0」をあらかじめインストールしておいてください。アプリケーションのインストール後に「Premiere」のインストールを行った場合は、専用アプリケーションのインストールを再度行ってください。

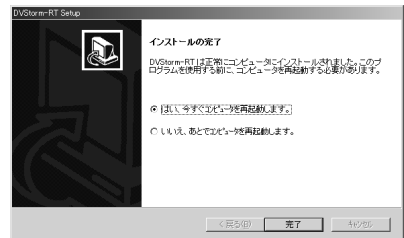
- 9** DVStorm-RTのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ] クリックしてください。



- 10** [次へ]をクリックしてください。
- ファイルのコピーが開始されます。



- 11** [はい、今すぐコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックしてください。
- コンピュータを再起動します。
- CD-ROM は取り出さないでください。



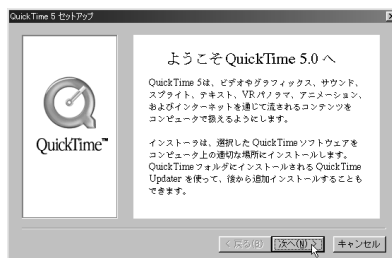
1-7. QuickTime のインストール

QuickTime をインストールします。QuickTime 4 より古いバージョンをご使用の場合は、DVStorm-RT 専用アプリケーションのインストールを行う前に、必ずアンインストールしてください。『setupmgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

※ DVStorm-RT 専用アプリケーションの動作には、QuickTime 4以降が必要です。

- 1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。
※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。
- 2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。
※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。
- 3 CD-ROM を挿入したドライブ (D: ドライブ) を選択して開いてください。
- 4 QuickTime フォルダ内の [QuickTimeInstaller.exe] をダブルクリックしてください。
- 5 QuickTime 5のセットアップ画面が起動します。
→ [次へ] をクリックし、画面の内容に従ってインストールしてください。
→ QuickTime 4 をすでにインストールしている場合は、[キャンセル] をクリックしてください。



[次へ] をクリックします。



内容を確認し、[同意します] をクリックします。



インストール先ディレクトリを指定し、[次へ] をクリックします。



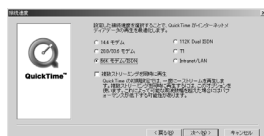
[基本的なインストール] を選択し、[次へ] をクリックします。



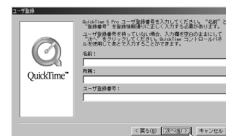
アイコンを登録するフォルダを指定し、[次へ] をクリックします。



Web ブラウザのプラグインをインストールするディレクトリを指定し、[次へ] をクリックします。



インターネットの接続速度を選択し、[次へ] をクリックします。



ユーザー登録番号は入力せず、[次へ] をクリックします。



セットアップは完了です。[閉じる] をクリックします。

1-8. Windows Media 関連のインストール

Windows Media 関連のインストールを行います。『setupmgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。
※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。
- 2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。
※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。
- 3 CD-ROMを挿入したドライブ(D:ドライブ)を選択して開いてください。
- 4 お使いの環境にWindows Mediaがインストールされていない場合には、Windows Mediaフォルダ内の[mpfull.exe]、[WMFAudioRedist.exe]、[WMFRedist.exe]をダブルクリックしてください。
- 5 Windows Media 関連のセットアッププログラムが起動しますのでメッセージにしたがって、インストールを行ってください。



1-9. MPEG ソフトエンコーダのインストール

MPEGソフトエンコーダのインストールを行います。『setupmgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

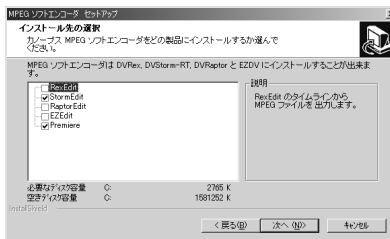
- 1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。
※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。
- 2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。
※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。
- 3 CD-ROMを挿入したドライブ(D:ドライブ)を選択して開いてください。
- 4 Mpgswenc フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。
→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。

5 [次へ] クリックしてください。



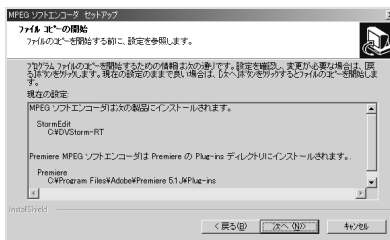
6 [StormEdit]にチェックがついていることを確認し、[次へ]をクリックしてください。

→ Premiere をインストールしている場合は、[Premiere]にチェックがついていることを確認ください。



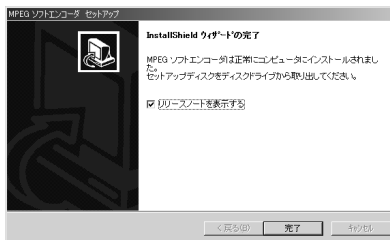
7 [次へ]をクリックしてください。

→ ファイルのコピーが開始されます。



8 セットアップ完了ウィンドウが表示されます。
→ [リリースノートを表示する]にチェックをつけ、[完了]をクリックしてください。

※ リリースノートやマニュアル等に記載されていない事項などが記載されていますので、インストール時には必ずお読みください。



1-10. SoftXplode のインストール

SoftXplodeのインストールを行います。インストール前にプラグインを追加する編集アプリケーションのインストールをあらかじめ行っておく必要があります。

DVXPLODE Professional、DVXPLODE、DVXPLODE fx およびRex fxをご使用される場合は、SoftXplodeのインストールをキャンセルしてください。『setupmgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。

2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。

※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

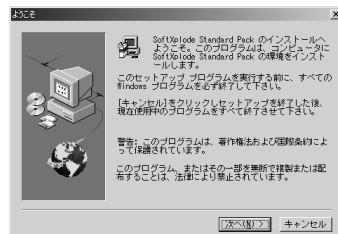
※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。

3 CD-ROMを挿入したドライブ(D:ドライブ)を選択して開いてください。

4 Xplodeフォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。

5 [次へ]をクリックしてください。



6 [次へ]をクリックしてください。

→ SoftXplode を使用するビデオ編集アプリケーションのチェックボックスにチェックをつけてください。

※ 該当する編集アプリケーションがインストールされていない場合は、チェックできません。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。

※ [参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名を直接入力してください。



7 セットアップ完了ウィンドウが表示されますので、[終了]をクリックしてください。



1-11. MEDIACRUISE のインストール

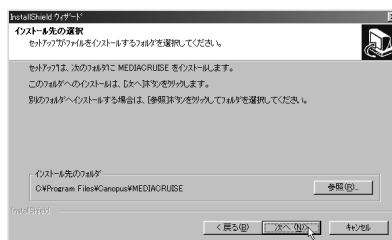
MEDIACRUISEのインストールを行います。DVStorm-RTのセットアップをあらかじめ完了しておく必要があります。『setupmgr.exe』を実行したインストールでは、本アプリケーションはインストールされませんので必ず別途インストールを行ってください。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。
※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。
- 2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。
※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。
- 3 CD-ROM を挿入したドライブ (D: ドライブ) を選択して開いてください。
- 4 MEDIACRUISE フォルダ内の [Setup.exe] をダブルクリックしてください。
→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。
- 5 [次へ] クリックしてください。



- 6 [次へ]をクリックしてください。
→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。

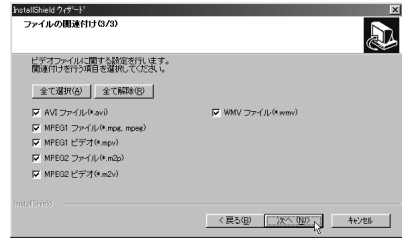
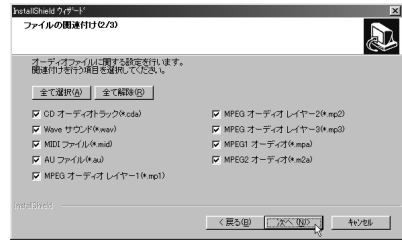


- 7 MEDIACRUISE に関連付けを行うアイテムを選択してください。
→ ファイルのコピーが開始されます。



→ ディスク、オーディオファイルおよびビデオファイルのMEDIACRUISE への関連付けを選択します。次の設定画面に移動するには、[次へ]をクリックしてください。

※ 選択可能な設定項目は、お使いの環境により異なります。

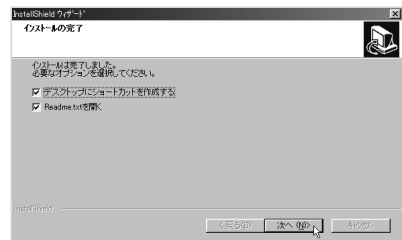


8 MEDIACRUISE のアイコンを登録するフォルダを選択し、[次へ]をクリックしてください。



9 必要なオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。



ポイント

Readme.txt には、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

10 [完了]をクリックしてください。



1-12. StormEncoder アプリケーションのインストール

StormEncoder アプリケーションのインストールを行います。インストール前に編集アプリケーションおよび専用アプリケーションのインストールをあらかじめ行っておく必要があります。『setupmgr.exe』を実行したインストールでは、本アプリケーションはインストールされませんので必ず別途インストールを行ってください。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1 『DVStorm-RT Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。

2 [スタート]メニューから[プログラム]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動してください。

※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから『マイコンピュータ』を選択します。

3 CD-ROM を挿入したドライブ (D: ドライブ) を選択して開いてください。

4 StormEncoder フォルダ内の [Setup.exe] をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についてのダイアログが表示されます。

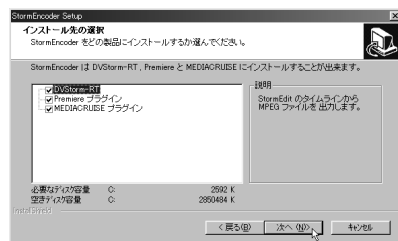
5 [次へ] クリックしてください。



6 [次へ] をクリックしてください。

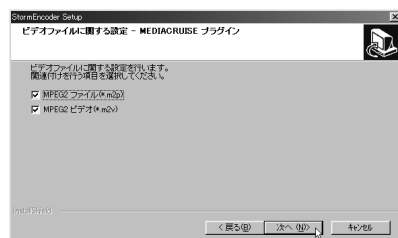
→ StormEncoder を使用するビデオ編集アプリケーションのチェックボックスにチェックをつけてください。

※ 該当する編集アプリケーションがインストールされていない場合は、チェックできません。

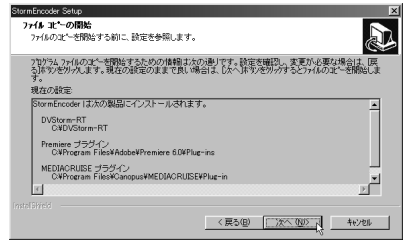


7 [次へ] をクリックしてください。

→ ファイルのコピーが開始されます。



- 8** セットアップ完了ウィンドウが表示されます。
→ 完了をクリックしてください。



2 アンインストール

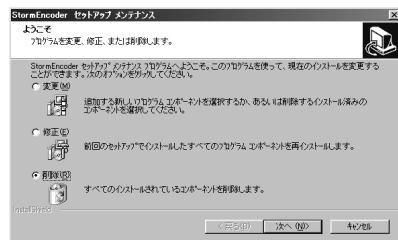
アプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。また、アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは、Windows 98 SE 環境でのアンインストール手順を例に説明します。

1 [スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]へと進み、[アプリケーションの削除]をダブルクリックしてください。

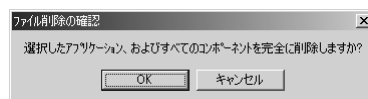
2 削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[StormEncoder]を選択し、[追加と削除]をクリックしてください。



3 [削除]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



4 [OK]をクリックしてください。



5 アンインストール後、手順2の画面に戻りますので[OK]をクリックしてください。

第4章

StormEncoder

ファイル変換

この章では、StormEncoder を使用した MPEG ファイル形式への変換を説明します。

- MPEG ファイルへの変換

ご注意

- 変換中は、アナログビデオ / DV およびオーディオの出力を行えません。
- MPEG の再生には、本製品付属の「MEDIACRUISE」もしくは DVStorm-RT に付属の「WinDVD」を使用します (DVStorm-RT Light には、WinDVD は付属していません)。MEDIACRUISE の DVStorm-RT プラグイン使用時のみ、DVStorm-RT の端子類からの映像および音声の出力が行えます。

1 MPEG ファイルへの変換

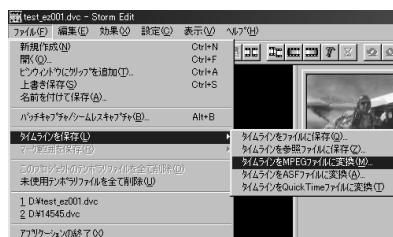
1-1. StormEdit での変換 - タイムライン全部を変換 -

StormEncoder を使用することで、StormEdit のタイムライン上にあるビデオデータを MPEG ファイル形式へ変換することが可能になります。ここではタイムライン全体を変換する方法を説明します。30フレーム未満のクリップは変換できません。

📖 ポイント

変換後の MPEG 形式ファイルは、StormVideo および StormEdit ではプレビューできません。

- 1 [ファイル]メニューから[タイムラインをMPEGに変換]を選択します。



- 2 ファイル変換後に作成される MPEG ストリーム形式を指定します。

📖 ポイント

MPEG ソフトエンコーダがインストールされている場合、[コーデックの選択]で MPEG ソフトエンコーダもしくは MPEG2 Option (StormEncoder) を選択できます。本製品を利用する場合は、MPEG2 Option (StormEncoder) を選択してください(チェックを付ける)。



- **MPEG1 システムストリーム**
ビデオとオーディオを多重化して1つのファイルに記録します。
- **MPEG1 エレメンタリストリーム**
ビデオとオーディオをエンコードしてそれぞれ別個のファイルとして同時に記録します。[ビデオストリーム]もしくは[オーディオストリーム]を指定することでビデオまたはオーディオを単独でエンコードできます。
- **MPEG2 プログラムストリーム**
ビデオとオーディオを多重化して1つのファイルに記録します。
- **MPEG2 エレメンタリストリーム**
ビデオとオーディオをエンコードしてそれぞれ別個のファイルとして同時に記録します。[ビデオストリーム]もしくは[オーディオストリーム]を指定することでビデオまたはオーディオを単独でエンコードできます。
- **ビデオ CD**
Video CD形式に準拠したMPEG1ファイルを作成します。元データのオーディオサンプリングレートに関係なく、サンプリングレートは44.1KHz/16Bitに変換されます。

📖 ポイント

変換する MPEG ストリーム形式により以降の手順で行うビデオ・オーディオ等のタブで設定可能な項目は異なります。SVCD は、[コーデックの選択]で MPEG ソフトエンコーダを選択した場合の機能となります。

3 [ビデオ]タブをクリックし、ビデオデータに関する設定を行います。

ポイント

変換するMPEG ストリーム形式により表示画面は異なります。



- ・ **プロファイルとレベル**
プロファイルとレベルを設定します。作成するストリーム形式がMPEG1の場合は表示されません。
- ・ **イメージサイズ**
画像サイズを設定します。ストリーム形式としてMPEG1を選択した場合は、コンボボックスは表示されません (MPEG1形式のイメージサイズは、352x240に固定されます)。
- ・ **ビットレート/コントロール・ビットレート**
ビデオデータのビットレートと符号化形式を設定します。ビデオビットレートは400bps単位で設定します。400bps単位で指定しなかった場合は自動的に400bps単位の設定値に変更されます。ビットレートを高くすると画質は良くなりますが、ファイルサイズが大きくなります。ビデオデータの符号化形式はCBR、VBRのいずれかに設定します。VBRを選択した時のみ、最大ビットレート (400bps単位) も同時に設定することができます。
- ・ **GOPパターン**
GOPパターンをI フレーム (Iピクチャのみで構成されるGOP)、IBBP (I/B/Pの3つのピクチャから構成されるGOP) のいずれかに設定し、以下のパラメータを設定することができます。
 - ・ **ピクチャ枚数**
GOP内に含まれるピクチャ枚数を1~30の範囲で設定します。Iフレーム選択時にはピクチャ枚数は1に固定されます。
 - ・ **インターバル**
IもしくはPピクチャが現れる周期を1~3の範囲で設定します。Iフレーム選択時には周期は1に固定されます。
 - ・ **GOP完結**
この設定を行うと、1つのGOP分のビデオデータとそれに付随するオーディオデータを格納するバックの集まりを1つの単位とし、その中で1つのGOPが完結します。ストリーム形式がMPEG1の場合は表示されません。
 - ・ **クローズド GOP**
GOP内の画像が他のGOPから独立して再生可能なことを示すClosed GOPフラグを設定します。

4 [オーディオ]タブをクリックし、オーディオデータに関する設定を行います。

ポイント

変換するMPEG ストリーム形式により表示画面は異なります。



- ・ **サンプリングレート**
オーディオ信号のサンプリングレートが表示されます。
- ・ **形式**
オーディオデータの形式を設定します。
- ・ **ビットレート**
オーディオデータのビットレートを設定します。ビットレートを高くすると音質は良くなりますが、ファイルのサイズが大きくなります。
- ・ **チャンネル**
 - ・ **ステレオ**
左右の位相が比較的似ている場合に選択します。

- ・ **ジョイント**
左右の位相がほとんど同じ場合に選択します。
- ・ **デュアル**
左右の位相が大きく異なる場合に選択します。
- ・ **MONO**
モノラルにする場合に選択します。
- ・ **エンファシス**
エンファシスエンコードを行う場合に設定します。再生に使用するシステムとの互換性のための設定です。通常はチェックをつける必要はありません。
- ・ **プロテクション**
CRCエラーの検出が行えるファイルを作成する場合にチェックをつけます。ビデオ CDを選択している場合は、チェックをつけなくてください。
- ・ **オリジナル**
オリジナルビットをつけたオーディオファイルを作成する場合にチェックをつけます。このデータがコピーではなくオリジナルデータであることを示します。
- ・ **コピーライト**
著作権保護情報をつけたファイルを作成する場合にチェックをつけます。オリジナルで創作したデータ以外にはチェックをつけなくてください。

5 [フィルタ]タブをクリックし、プリフィルタに関する設定を行います。



- ・ **垂直フィルタ**
動きが少ない画像に対して、ちらつきを抑えるフィルタです。フィルタを有効にする場合は、チェックをつけ、スライダーでフィルタのかかり具合を調整してください。動きが激しい画像に効果を大きくかけると、動きがカクカクする場合があります。
- ・ **マトリクスフィルタ**
動きが激しい画像に対して、ざわつきを抑えるためのフィルタです。フィルタを有効にする場合は、チェックをつけフィールドに数値(-255から255)を直接入力し、設定してください。9つのフィールドが中心(真ん中のフィールドに対応)を基準ピクセルとした画像9ピクセル分の設定に該当します。たとえばデフォルトの設定の場合、中心にあるフィールドの数値を現在の数値より小さくすると画像のぼけ具合が小さくなります。9つのフィールドの数値をすべて足し算して0になった場合は、フィルタ処理が行われない画像が表示されます。

6 [出力ファイル]タブをクリックし、データの出力に関する設定を行います。



ポイント

変換するMPEG ストリーム形式により設定できる項目は異なります。テキストフィールドに現存するファイル名と同名のファイル名を入力した場合は、無条件に上書きされますのでご注意ください。デフォルトのファイル名はプロジェクト名+拡張子となっています。

・ビデオ

変換するファイル形式がMPEG1 エレメンタリーストリームもしくはMPEG2エレメンタリーストリームの場合は、変換後に作成されるビデオファイル名(パス名も含む)をテキストフィールドにキー入力します。フォルダを参照する場合は、[...]をクリックします。

・オーディオ

変換するファイル形式がMPEG1 エレメンタリーストリームもしくはMPEG2エレメンタリーストリームの場合は、変換後に作成されるオーディオファイル名(パス名も含む)をテキストフィールドにキー入力します。フォルダを参照する場合は、[...]をクリックします。

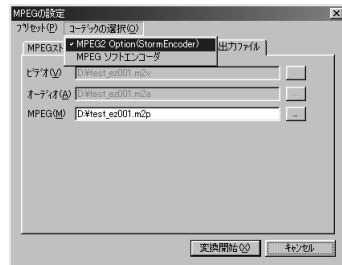
・MPEG

変換するストリーム形式がMPEG1 システムストリーム、MPEG2 プログラムストリームもしくはビデオCDの場合は、変換後に作成されるファイル名(パス名も含む)をテキストフィールドにキー入力します。フォルダを参照する場合は、[...]をクリックします。

7 設定した内容を保存する場合は、[プリセット]メニューの[名前を付けて保存] (新規に保存) もしくは[初期値として保存] (デフォルトの設定として保存) を選択します。



8 [コーデックの選択]メニューを選択し、[MPEG2 Option(StormEncoder)]になっていることを確認します。



📖 ポイント

StormEncoder のインストールに失敗している場合は、[コーデックの選択]メニューおよび[変換開始]のボタンは表示されません。

9 [変換開始]をクリックします。

- ファイルの変換を開始します。
- ファイルの変換を中止する場合は、[中止]をクリックします。



10 [変換開始]のダイアログが消えると、ファイルの変換は完了です。

📖 ポイント

MPEG1/MPEG2 のエレメンタリーストリームでオーディオファイルを作成した場合、ビデオとオーディオはそれぞれ別のファイルに出力されます。MPEG1 システムストリーム、MPEG2 プログラムストリームやビデオCD の場合、ビデオとオーディオを1つのMPEGファイルにまとめて格納します。

1-2. StormEdit での変換 - タイムラインの一部を変換

タイムラインの一部を選択し、変換結果の評価用にトライアルファイル変換ができます。マークの IN点とOUT点の間は最低でも1秒以上あけて設定してください。

注意!

変換後のMPEG形式ファイルは、StormVideo およびStormEdit ではプレビューできません。

1 [編集]メニューの[マーク]から選択するか、AVI コントローラにあるマークの設定アイコンをクリックします。

→ マークの IN点およびOUT点を設定し、トライアルプレビューを行う範囲を設定してください。



2 マーク範囲が設定されると、図の楕円で囲まれた部分の色が変わります。



- 3 [編集]メニューから[マーク範囲を保存]選択し、[マーク範囲をMPEGファイルに変換]を選択します。



- 4 MPEG に関する設定画面が表示されます。
→ 『1-1. StormEdit での変換 - タイムライン全部を変換 -』の手順 2. 以降を参照して設定を行ってください。

◆ マーク IN/ マーク OUT のショートカットキー

キー操作だけで機能選択できるショートカットキーを活用することで、操作をスピーディに行うことができます。

- **Shift** + **↑** マーク IN
- **Shift** + **↓** マーク OUT
- **Ctrl** + **↑** マーク IN へ Jump
- **Ctrl** + **↓** マーク OUT へ Jump

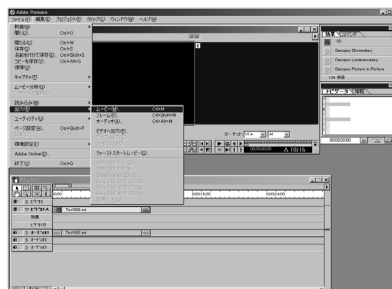
1-3. Premiere での変換

Premiere で編集したデータをMPEGファイル形式に変換します。ただし、変換されたファイルはPremiereでは再生できません。

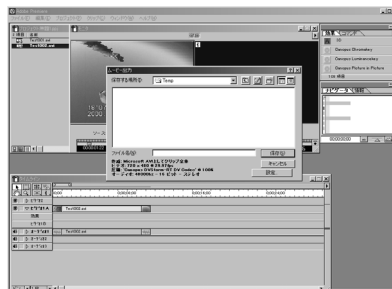
📖 ポイント

Premiere プラグインを使用する場合は、必ずStormEncoder のアプリケーションのインストールを行う前にPremiereのインストールを行ってください。MPEGパラメータの設定項目については、『1-1. StormEdit での変換-タイムライン全部を変換-』の項をご参照ください。若干画面は異なりますが設定可能な項目は同じです。

- 1 編集後、出力したい場所を選択し、[ファイル]メニューから[出力]-[ムービー]もしくは[ファイル]メニューから[出力]-[オーディオ]を指定し、出力ファイル設定画面を表示します。



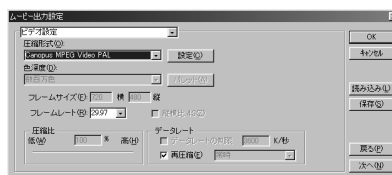
- 2 [設定...]をクリックし、[出力設定]画面を表示します。



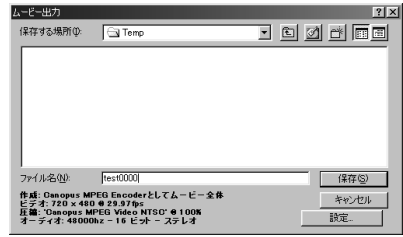
- 3 [全般設定]-[ファイルの種類]が [Canopus MPEG Encoder] になっていることを確認し、[OK]をクリックします。

📖 ポイント

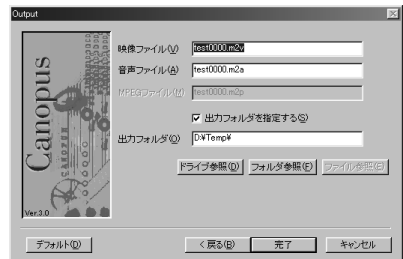
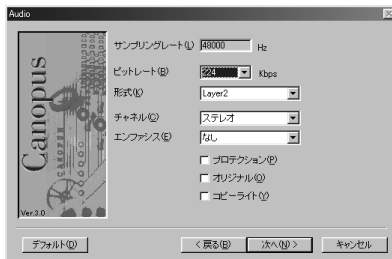
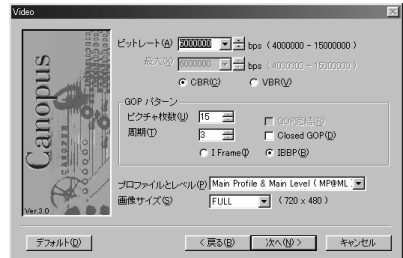
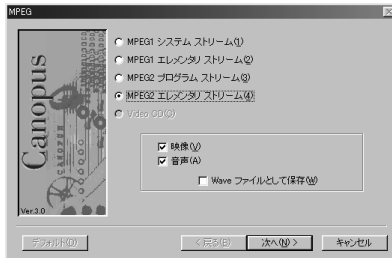
- [終了時に開く]にはチェックをつけないでください。
- PAL形式・16:9(NTSC/PAL)形式の出力を行う場合は、[ビデオ設定]で圧縮形式の設定を行ってください。



- 4 手順2. の画面に戻りますので、ファイル名のテキストフィールドにファイル名を入力し、[保存]をクリックします。



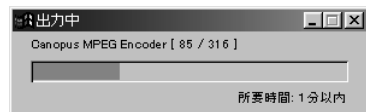
- 5 [詳細設定]を指定し、パラメータを設定します。
 → 各タブの設定を行います。
 → 設定完了後、[OK]をクリックします。



📖 ポイント

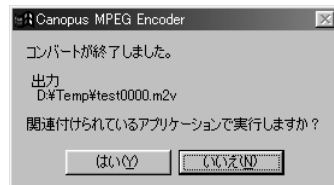
Premiere の [出力設定] 画面の [オーディオ設定]-[サンプリングレート] で設定したサンプリングレートが有効になるため、このパラメータ設定画面では、サンプリングレートの変更を行えません。サンプリングレートは、あらかじめ設定しておいてください。

- 6 変換を開始します。



- 7 変換完了のダイアログが表示されます。

- 変換された結果をプレビューする場合は、[はい]をクリックしてください。
 → 変換された結果をプレビューしない場合は、[いいえ]をクリックしてください。



📖 ポイント

変換後の MPEG 形式ファイルは、Premiere ではプレビューできません。

■ Premiere での MPEG ファイル出力時のご注意について

[ムービー出力設定]-[キーフレームとレンダリングオプション]-[フィールド設定]を指定し、出力元の映像フォーマットに応じたフィールド(フレーム単位で見た場合の一番上のライン)設定を正しく行ってください。この設定が正しく行なわれていない場合、出力したMPEG2ファイルを再生する際(特にTVでご覧いただく場合に顕著に現われます)にフィールドの表示順序が入れ替わり、映像の横方向に動く部分が、ぎこちない動きとなります。

- 一番上のラインが ODD フィールドである場合、[上位フィールドから]を指定してください。
- 一番上のラインが EVEN フィールドである場合、[下位フィールドから]を指定してください。

出力元の映像が Canopus DV 形式である場合には、一番上のラインは EVEN フィールドとなりますので、[下位フィールドから]を指定してください。

出力元の映像がフィールド構造を持たない場合(縦方向の解像度が240以下のAVIファイルやMPEG1ファイルの場合など)は、[上位フィールドから]を指定してください。

📌 ポイント

[キーフレームとレンダリングオプション]の設定ダイアログは、プロジェクト設定の中にもありません。プロジェクト設定側の設定を変更しても、上記の動作に効果は反映されませんのでご注意ください。[ファイル]-[出力]-[ムービー]を指定し、[設定]をクリックした時に表示されるダイアログで設定してください。

Premiereプラグインを使用してVideo CD形式のファイルを出力する場合は、[出力設定]画面の[オーディオ設定]-[サンプリングレート]を[44100Hz]に設定する必要があります。サンプリングレートが、[48000Hz]や[32000Hz]に設定されている場合は、Video CD形式の選択はできませんのでご注意ください。

第5章

StormEncoder

リアルタイムキャプチャ

この章では、アプリケーション『MEDIACRUISE』を使用したMPEG形式でのリアルタイムキャプチャと作成されたMPEGファイルの再生方法を説明します。本機能は、Windows NT 4.0環境ではご使用いただけません。

・MEDIACRUISE での録画・再生

1 MEDIACRUISE での録画・再生

1-1. VIDEO モードにする

MEDIACRUISE を VIDEO モードにする手順について説明します。VIDEO モードは、VIDEO PLAYERモード、VIDEO RECORDERモードに分かれており、映像に関連する、さまざまな用途に対応しています。また、MEDIACRUISE 対応の VIDEO 製品により独自の機能のモードが追加されます。

- 1 [スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus MEDIACRUISE]と進んで『MEDIACRUISE』を選択します。

→ MEDIACRUISE が起動します。

- 2 メインコントローラのVIDEOボタンをクリックしてください。

→ MEDIACRUISE がVIDEOモードになります。



- 3 使用するモードのタブをクリックします。

→ VIDEO PLAYER タブをクリックしたときは、VIDEO PLAYER モードになります。

→ VIDEO RECORDER タブをクリックしたときは、VIDEO RECORDER モードになります。



1-2. VIDEO PLAYER タブのメニュー

VIDEO PLAYER タブをクリックすると VIDEO PLAYER モードになります。VIDEO PLAYER モードは、AVI や MPEG1、MPEG2 などの様々なビデオファイルを再生するモードです。VIDEO PLAYER モードのサブコントローラには、ビデオファイルの再生を便利に行うことができる様々な機能が用意されています。ここでは、DVStorm-RT 再生プラグインを使用した MPEG ファイルの再生で使用できる機能を説明します。AVI ファイルや他の再生プラグインを使用した場合は、使用できるボタンや機能が異なります。

■ VIDEO PLAYER モードでのメインコントローラの機能



① 再生ボタン

ファイルの再生を開始します。

② 停止ボタン

ファイルの再生を停止します。

③ ポーズボタン

再生中に押すと、ポーズ状態になり、映像表示を静止させます。

④ 早戻しボタン

再生時に使用します。押すごとに、1秒分ずつ前に戻ります。押し続けると、早戻しを行います。ポーズ状態にしてから使用すると便利です。また、このボタンの上で右クリックすると、10～120秒のメニューが出ます。メニューから数値を選択すると、その時間だけ前にスキップします。

⑤ 早送りボタン

再生時に使用します。押すごとに、1秒分ずつ先に進みます。押し続けると、早送りをを行います。また、このボタンの上で右クリックすると、10～120秒のメニューが出ます。メニューから数値を選択すると、その時間だけ先にスキップします。

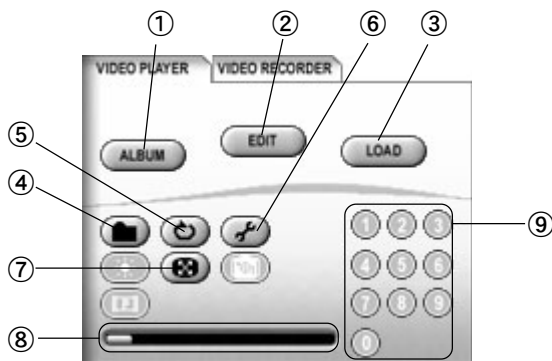
⑥ 次ボタン

アルバム再生時に次のファイルに移動します。単独のファイルの場合は、ファイルの最終に移動します。

⑦ 前ボタン

アルバム再生時に前のファイルに移動します。単独のファイルの場合は、ファイルの先頭に移動します。

■ VIDEO PLAYERモードでのサブコントローラの機能



再生時に、早戻しおよび早送りボタン上で右クリックすると、一定時間をスキップさせるためのポップアップメニューが表示されます。

① ALBUMボタン

アルバムモードに移行します。ディスプレイの、[ALBUM] ライトが点灯します。もう一度クリックすると、解除できます。

② EDITボタン

アルバム情報を編集するウィンドウを開きます。

③ LOADボタン

登録したアルバムを読み込みます。

④ ファイルボタン

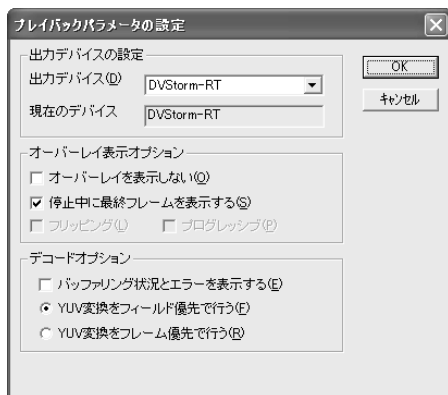
再生したいファイルを選択するウィンドウを開きます。

⑤ リピートボタン

繰り返し再生を行います。通常再生時には、シングルリピートとリピート解除、アルバム再生時には、シングルリピートとアルバムリピート、リピート解除の順に切り替わります。

⑥ オプションボタン

再生映像の各種設定を行うウィンドウを開きます。



出力デバイスの設定

再生映像の出力先のデバイスを指定出来ます。DVStorm-RTを選択することによりDVStorm-RTのVIDEO出力から再生映像信号が出力されます。

オーバーレイ表示オプション

オーバーレイ表示に関する設定を行います。[オーバーレイを表示しない]にチェックを付けるとパソコンモニタ上にオーバーレイ表示を行いません。[停止中に最終フレームを表示する]にチェックを付けると、ファイルの再生終了時や、[停止]ボタンでの終了時での最終フレームを表示します。最終フレームを表示しない場合は、パソコンモニタ側、DVStorm-RT VIDEO出力側ともに映像が黒い画面になります。スライダーを操作時にもフレームが表示されません。

デコードオプション

[バッファリング状況とエラーを表示する]にチェックを付けた場合、パソコンモニタ上にバッファリングの状況とエラーメッセージを表示します。[YUV変換をフィールド優先で行う]は、動きの激しい映像の場合に選択します。[YUV変換をフレーム優先で行う]は、動きが少ない映像の場合に選択します。

⑦ サイズボタン

表示サイズの指定や、縦横比の固定、フルスクリーン表示などの指定を行います。ディスプレイにメニューが表示されますので、設定したい項目を選択してください。

⑧ スライダー

ビデオ再生中にスライダーを移動すると、任意の位置に移動することができます。

⑨ テンキー

アルバム再生時に、再生したい映像番号を直接入力できます。

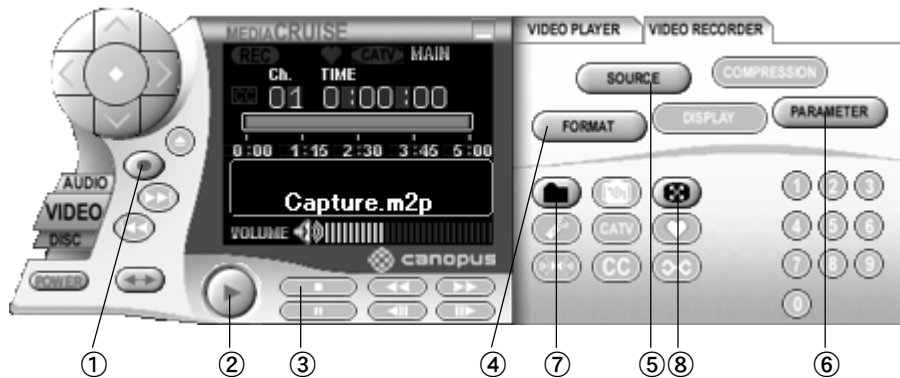
1-3. VIDEO RECORDER タブのメニュー

VIDEO RECORDER タブをクリックすると VIDEO RECORDER モードになります。VIDEO RECORDER モードは、当社の対応キャプチャ製品や Video for Windows 規格・DirectShow 規格に準拠したビデオキャプチャボードが必要です。ここでは、DVStorm-RT キャプチャプラグインを使用し、MPEGキャプチャを行う場合に使用できる機能や設定について説明します。

ポイント

DVStorm-RT キャプチャプラグインは、DVStorm-RT に StormEncoder を装着した場合のみ動作可能です。キャプチャフォーマットはMPEG形式のみです。AVI形式ではキャプチャできません。

■ VIDEO RECORDER モードでのメイン・サブコントローラの機能



①レコードボタン

録画を開始します。

②再生ボタン

録画したファイルの再生を行います。

③停止ボタン

再生・録画を停止します。

④ビデオフォーマット設定ボタン

録画時のビデオフォーマットを設定するウィンドウを開きます。

⑤ビデオソース設定ボタン

録画時のビデオソースを設定するウィンドウを開きます。

⑥パラメータボタン

録画時のパラメータを設定するウィンドウを

⑦ファイルボタン

録画するファイルを設定するウィンドウを開きます。録画するフォーマットによりファイルの拡張子が変わります。

MPEG1Video CD

オーディオのみ： *.mpa
 ビデオのみ： *.mpv
 オーディオ+ビデオ： *.mpaで指定
 .mpaと.mpvが作成
 システムストリーム： *.mpg

MPEG2

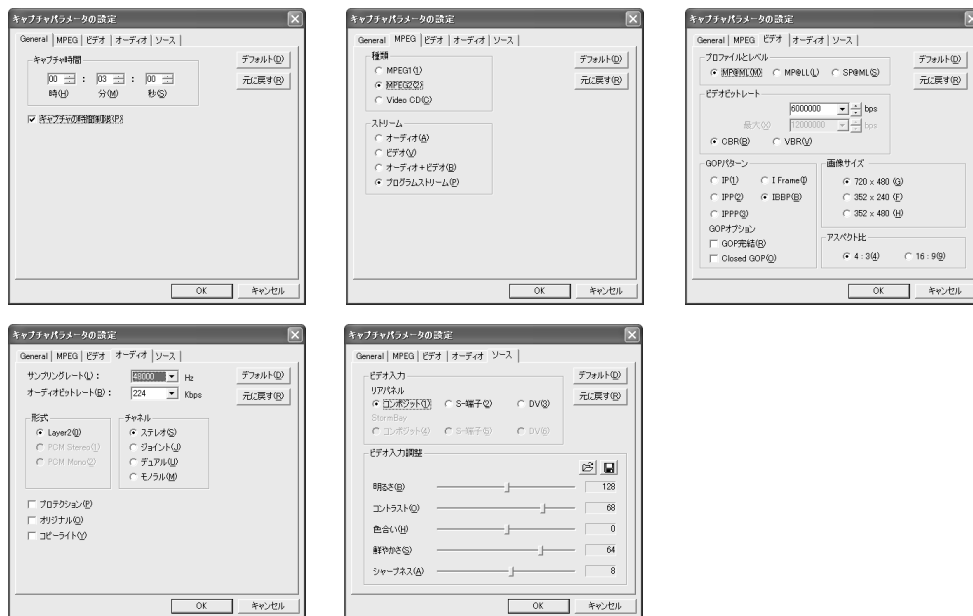
オーディオのみ： *.m2a
 ビデオのみ： *.m2v
 オーディオ+ビデオ： *.m2aで指定
 .m2aと.m2vが作成
 システムストリーム： *.m2p

⑧サイズボタン

表示サイズの指定や、縦横比の固定、フルスクリーン表示などの指定を行います。ディスプレイにメニューが表示されますので、設定したい項目を選択してください。

■ VIDEO RECORDER モードで使用するタブメニューについて

ビデオフォーマット設定ボタン・ビデオソース設定ボタン・パラメータボタンを押したとき [キャプチャパラメータの設定] ウィンドウが表示されます。[キャプチャパラメータの設定] には “General”、“MPEG”、“ビデオ”、“オーディオ”、“ソース” の設定タブがあります。それぞれの設定タブについて説明します。また、[デフォルト] をクリックすると初期設定に、[元に戻す] をクリックすると直前に設定していた内容に戻ります。



Generalタブ

キャプチャ時間を設定するタブです。設定項目は次のとおりです。

キャプチャ時間/キャプチャの時間制限

キャプチャ時間の設定を行います。[キャプチャの時間制限] をチェックすることによりキャプチャ時間を設定することができます。



フォーマットタブ

録画時のデータファイル形式を設定するタブです。設定項目は次のとおりです。

種類

録画データのデータファイル形式として使用するものを選択します。

種類

- MPEG1 (1)
- MPEG2 (2)
- Video CD (C)

ストリーム

録画するストリームを選択します。

ビデオやオーディオのそれぞれをエンコードしたエレメンタリーストリームと、ビデオとオーディオのデータが一つにまとめられたストリーム (MPEG2 の場合はプログラムストリーム・MPEG1 の場合はシステムストリーム) を作成できます。

ストリーム

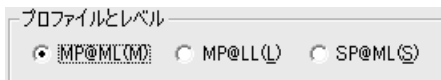
- オーディオ (A)
- ビデオ (V)
- オーディオ+ビデオ (B)
- プログラムストリーム (P)

ビデオタブ

録画時のデータ保存内容の詳細設定をするタブです。設定項目は次のとおりです。

プロファイルとレベル

録画データのプロファイルとレベルを選択します。MPEG1 および Video CD のモードを指定した場合は選択できません。通常は、[MP@ML(M)] を選択してください。

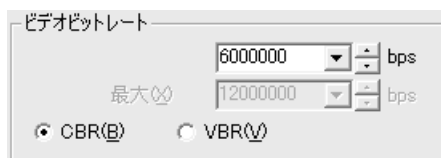


ビデオビットレート

ビデオデータのビット量を指定します。ビデオデータ量の変動する VBR を使用する場合は最大ビットレート (上限値) も指定します。VideoCD モードの場合、選択できません。

CBR/VBR

ビデオデータ量をほぼ一定に保つ場合は、[CBR] をチェックしてください。ビデオデータ量の変動を許容する場合は、[VBR] をチェックしてください。



GOP パターン

MPEG データを構成する I ピクチャ・P ピクチャ・B ピクチャのパターンを選択します。通常は IBBP を選択してください。

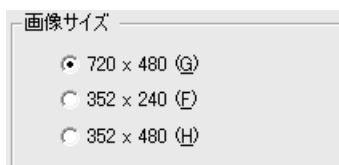
GOP オプション

GOP 完結で録画する場合は、[GOP 完結] をチェックしてください。Closed GOP で録画データを記録する場合は、[Closed GOP] をチェックしてください。MPEG1 および VideoCD のモードを指定した場合は、[GOP 完結] は選択できません。



画像サイズ

録画データを記録するときの、1 画面あたりのピクセル数を設定します。ピクセル数が大きいほど解像度が高くなりますが、データサイズも大きくなります。MPEG1 および VideoCD のモードを指定した場合は、352x240 に限定されます。



アスペクト比

画面のアスペクト(縦と横の比率)を選択します。録画データのアスペクト比に合わせてください。MPEG1 および Video CD のモードを指定した場合は、選択できません。

アスペクト比

4:3(4) 16:9(9)

オーディオタブ

録画時の音声の詳細設定をするタブです。設定項目は次のとおりです。

サンプリングレート

オーディオ信号のサンプリングレート(標準化周波数)を設定します。Video CD のモードの場合、選択できません。

サンプリングレート(L): Hz

オーディオビットレート

録画データの音声の圧縮サイズを設定します。Video CD のモードの場合、選択できません。

オーディオビットレート(B): Kbps

形式

録画データの音声の圧縮形式を選択します。

形式

Layer2(0)

PCM Stereo(1)

PCM Mono(2)

チャンネル

録画データのチャンネル形式を選択します。Video CD のモードの場合、モノラルは選択できません。

チャンネル

ステレオ(S)

ジョイント(J)

デュアル(D)

モノラル(M)

プロテクション

チェックすると、録画データにエラーチェックコードが付加されます。

オリジナル

チェックすると、この録画データがオリジナルデータであることを、録画データのヘッダー部に記録されます。

コピーライト

チェックすると、この録画データに著作権があることを、録画データのヘッダー部に記録します。

プロテクション(P)

オリジナル(O)

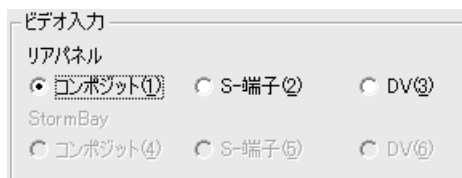
コピーライト(Y)

ソースタブ

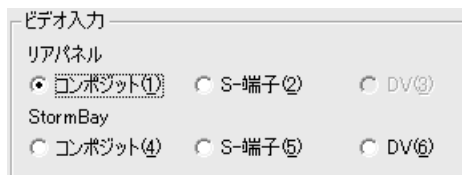
録画ソースの選択とビデオ入力調整するタブです。設定項目は次のとおりです。

ビデオ入力

録画ソースを選択します。録画ソースは、コンポジット・S-端子・DVから選択できます。



StormBayを装着した場合は、5系統の入力が可能となります。



ビデオ入力調整

録画する映像を調整します。明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさ、シャープネスの各スライダを左右に移動させて、適当な表示状態になるように調整します。DV端子からの入力の場合は、調整できません。



調整したパラメータは、保存ボタンを押すことで指定のファイルに書き出すことができます。また、保存したパラメータファイルは、読み込みボタンで読み出すことができます。

1-4. 録画する

録画ソースに接続した機器の映像をMPEGファイル形式で録画する手順を説明します。

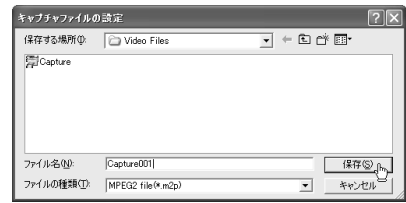
- 1 [スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus MEDIACRUISE]と進んで『MEDIACRUISE』を選択してください。
→ MEDIACRUISE が起動します。
→ [VIDEO]ボタン-[VIDEO RECORDER]タブの順に選択します。

- 2 ファイルボタンをクリックしてください。
→ [名前を付けて保存]ウィンドウが開きます。

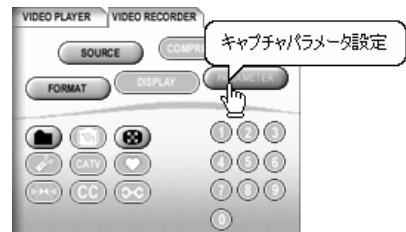


- 3 データの保存位置を選択し、[ファイル名]のテキストボックスにこれから録画するデータの名称を入力します。入力後、[保存]をクリックしてください。

※ 録画ファイルの保存先を変更できます。



- 4 [PARAMETER]ボタンをクリックしてください。
→ キャプチャパラメータの設定ウィンドウが開きます。録画に関するパラメータを設定します。



- 5 レコードボタンをクリックしてください。
→ 録画を開始します。



- 録画を終了する場合は、停止ボタンをクリックしてください。



1-5. 再生する

録画したMPEGファイルを再生する手順を説明します。

- 1 [スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus MEDIACRUISE]と進んで『MEDIACRUISE』を選択してください。

→ MEDIACRUISE が起動します。

→ [VIDEO0] ボタン-[VIDEO PLAYER] タブの順に選択します。

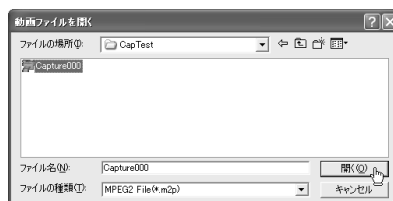
- 2 ファイルボタンをクリックしてください。

→ [動画ファイルを開く] ウィンドウが開きます。



- 3 再生するファイルを選択し、[開く]をクリックしてください。

→ ファイルの再生を開始します。



→ 再生を途中で終了する場合は、停止ボタンをクリックします。他のファイルを再生する場合は、手順2、3を繰り返してください。



→ 停止したファイルの再生を行う場合は、再生ボタンをクリックします。



ポイント

再生時に早送り / 早戻しボタン上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、一定時間スキップすることができます。

第6章

StormEncoder

APPENDIX

- StormEncoder 仕様

1 StormEncoder 仕様

- 最大消費電流 +5V 800mA
- ボード寸法 73mm x 90mm
- 質量 約 46g
- 使用資源 割り込み : IRQ を 1 つ (DVStorm-RT と共有)
メモリ空間 : 1K バイト分の領域 (DVStorm-RT と共有)

| | | |
|----------------|----------|---|
| ビデオ圧縮 | | ISO/IEC 13818-2 (MPEG2) |
| | | ISO/IEC 11172-2 (MPEG1) |
| プロファイル, レベル | | MP@ML, MP@LL, SP@ML |
| ビデオ画素数 | Standard | 720×480 (NTSC), 720×576 (PAL) |
| | Half | 352×480 (NTSC), 352×576 (PAL) |
| | SIF | 352×240 (NTSC), 352×288 (PAL) |
| ビデオビットレート | | MPEG2 Standard 4M~15Mビット/秒 |
| | | MPEG2 Half D1/SIF 2M~8Mビット/秒 |
| | | MPEG1 1M~1.8Mビット/秒 |
| | | VideoCD |
| | | VBRおよびCBRをサポート |
| GOP構成 | | IBBP (M=1~3, N=1~30で指定可能) |
| | | I-only (M=1, N=1) |
| オーディオサンプリング周波数 | | 32kHz, 44.1kHz, 48kHz |
| オーディオビット幅 | | 16ビット |
| オーディオ圧縮 | | ISO/IEC 11172-3 Layer 2 (ソフトウェアによるリアルタイム処理) |
| | | 圧縮なし (リニアPCMによるWAVEファイルを生成可能) |
| オーディオビットレート | | 128, 160, 192, 224, 256, 320, 384Kビット/秒 |